

学校林を生かした全校活動【森林環境教育】



学校名：釧路管内標茶町立中茶安別小中学校
 校長名：工藤 浩司 担当名：釜菴 圭

1 本校のESDの特徴

本校では、平成24年1月17日にユネスコスクールの認定を受け、『持続可能な開発のための教育＝ESD』を実践するため、地域の森林を素材とした環境教育に重点的に取り組みました。その森林＝学校林のことを、『るんるんフォレスト』と呼んでいます。

本校の学校林活動は、昭和11年にトド松600本が植樹されたことに始まり、その歴史は80年以上に及びます。現在9.7haの学校林を所有し、学校林での様々な体験活動をとおり、環境から学ぶことで自然と共生する心を育み、【今の私達が、学校林を守るためにできることは何か？】を追究しています。

本校のESDの特徴は、①学校林の中で、五感を使って自然とふれあう活動【感じる・遊ぶ・探検する・作る】をとおり、自然への好奇心を育む。②学校林の動植物に興味をもち、探求活動をとおり、自然への理解を深める。③学校林を守り育てる活動をとおり、自分達の手でより良い環境を創り上げる。の3点があります。本校では【50年後の中茶安別が、どうなっていてほしいか？】を子供達が考え、未来予想図を描くことを、今後のESDの基本にしていきます。



本校学校林のシンボル【ツリーハウス】

2 環境教育年間活動計画

		4月	5月	6月	7月	8月	9月		
小学校	1・2年	学校林活動 年度始めのオリエンテーション	春の学校林活動 【樹木雪除け冬囲い外し】	春を探しに行こう！ (生活科)		夏季休業↓学校林草刈り	秋を探しに行こう！ (生活科)		
小学校	3・4年			① 野草観察			② 樹木集め	③き のこ 学習	④ツリー イング(木 登り体験)
小学校	5・6年								
中学校 全校 学年	A					夏の学校林活動 【パイロットフォレスト探検】	チャンベツ 川調査		
	B						厚岸湖の 生態調査		
	C						別寒辺牛 川カヌー 体験学習		

※ 30年度

		10月	11月		12月	1月		2月	3月
小学校	1・2年	秋の学校林活動【樹木冬囲い・巣箱清掃】				冬季休業↓学校林除雪・ツリーハウス修理	生活科総合発表会		今年度の活動反省
小学校	3・4年			⑤学級発表会				⑥スノートレッキング(雪上歩行)	
小学校	5・6年							↓	
中学校 全学年	A	分析・レポート作成			総合学習発表会				
	B								
	C								

3 具体的な活動事例

【平成27年度…『全国緑の少年団・国際交流事業』に参加】
 本校の中学生3名が夏休み中にロシア・ハバロフスク州を訪問。
 ～各国の文化の違いはあっても、自然環境を大切に思う心は同じであることがわかりました。～



【秋の学校林…植樹に向けたイメージ交流会】



【秋の学校林…ツリーイングの木登り】

4 成果と課題

成果としては、学校林活動による環境教育により、自分達が生活している地域の素晴らしさを発見し、地域に対して誇りをもてるようになってきていることです。子供達から、『中茶安別がもっと好きになりました』という声をよく聞きます。課題は、小中9年間を見通した活動記録のまとめ方を工夫する点です。

また学習指導要領の改訂に合わせて教育課程への位置づけを見直し、教科横断的な視点でカリキュラムを編成しなおすことを課題ととらえています。